

- きじはこえにだしてよんでみよう。
- ないようについて、だれかとはなしてみよう。

よぞら こ ちんこん ほのお すか がわ たいまつ
夜空焦がす鎮魂の炎 須賀川「松明あかし」

鎮魂の炎が夜空を焦がした松明あかし＝8日午後7時10分ごろ、須賀川市



日本三大火祭りの一つに数えられる須賀川市伝統の火祭り「松明（たいまつ）あかし」は8日、同市の翠ヶ丘公園五老山を主会場に開かれた。各団体が手がけた自慢の松明22本が燃え盛り、鎮魂の炎が晩秋の夜空を焦がした。市などで行う実行委員会の主催。

祭りは、須賀川に攻め入った伊達政宗と須賀川城主・二階堂家の合戦で落命した人々を弔うために始まったとされ、430年以上の歴史を持つ。参加した各学校の応援合戦や厳かな太鼓の演奏が五老山に響く中、次々と松明に火が放たれ、熱気は最高潮に達した。

▲11月9日 福島民友新聞掲載

写真から、火の迫力だけでなく、にぎやかな応援合戦や太鼓の音まで響いてくるようですね。



きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)